

狭山が発祥の地

童句

第12回童句まつり佳作5句

揚げひばり 湖底に沈む 母の姉
シャボン玉 弟あやす 母映る
どんどう焼き 炎の蝶が 間に舞う
ひとりだけ 保健室より 卒業す
ごめんねが 言えず一人でれんげつむ

掛川美和 (和歌山県・田辺市)

寺崎千鶴 (神奈川県・横須賀市)

永沼六峯 (埼玉県・行田市)

佐藤祐子 (千葉県・成東町)

佐々木一郎 (福井県・鯖江市)

池原 裕治の

さやまの歌合本

39



夏の風物詩

市内の夏の風物詩をご紹介しましょ。

七月には、暑いさかりに流行る伝染病を追い払うために「天王さま」のおまつりが各地区的神社で行なわれます。参道に並ぶ露店の中にたつ、しやれた灯籠絵を見ながら、うちわを持つての夜の散歩も一興です。

八月になりますと関東では横綱格の「入間川七夕まつり」が六日・七日と行なわれます。一日間の人出が四十五万人といわれ、その年の話題をうまくとり入れた、タイムリーな竹

飾りは、年々盛大になつてきました。そして、二十一日は、広瀬のスイカ

市(浅間神社火まつり)です。富士講の人たちによつて行なわれる市内唯一の火の祭典です。

次に、竜神伝説がアニメにもなつて評判となつた「諏訪神社のなすとつかえ」の神事も近隣ではめずらしくかえおまつりです。

さあ、今年こそお近くのおまつりを見つけて、ぜひご家族で出かけてみましょう。

おまつりは祖先が残してくれた大切文化遺産なのです。

280 この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率80%の再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち

SAYAMA CITY
さやま

[狭山市広報]

VOL.516

◆発行日/平成10年7月10日(毎月10・25日発行)

◆編集・発行/狭山市企画財政部秘書広報課

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

TEL 042-953-1111(内線386)

FAX 042-954-6262 テレホンガイドさやま 0120-460-380